



新風会 上田 義定 議員

【関連質問】

▼精霊流しについて

Q 本年度から始まった精霊船作製支援補助金はどのような内容なのか。

A 島原を代表する伝統行事である精霊流しの継続と活性化を図るため、精霊流し行事実施協議会において精霊船を作製する団体、個人などに対して二万円を上限として費用の一部を助成するものである。

Q 精霊船を地域団体などで作製する場合、材料や道具を持ち寄り、作業や昼食の炊き出しもボランティアで協力してもらい、お金がかからないような方法で行っている。このような団体も補助の対象となるのか。

A 材料である青竹や麦わら、針金等の消耗材は補助対象としている。

Q この補助金には賛成するが、地域コミュニティの中でお金がかからないような方法で精霊船を作製し、技術と伝統を継承している方々も大事にするべきだと思いませんか。

A そのような団体があるのは承知しており、今後検討していきたい。



新風会 本田 順也 議員

【関連質問】

▼定住人口増加のために同窓会を活性化させては

Q 県は長崎への移住促進施策として、本年五月から東京都有楽町に「ながさき暮らしサポートデスク」を設置し、長崎への移住に関する住宅、就職、生活等の相談を、常駐する相談員がワンストップで対応している。そこで聞いた話では、長崎は地理的に交通手段の面で不利であり、下見の費用も高額になるのがネックになっているとのことである。定住人口増加策としてそういった方々への交通費の助成を考慮してはどうか。

A 移住を希望される方が、実際に島原の魅力に触れてもらうことは重要だと考えるので今後検討してみたい。

Q 兄弟都市である大分県豊後高田市では、明確な数値目標を掲げて定住人口増加に取り組み、人口減少に歯止めがかかったと聞く。本市も数値目標を掲げるべきだと思いませんか。

A 前向きな意識をつくるうえで大事なことなので、目標を設定する方向で進めてみたい。

委員会活動

7月1日の本会議で付託された議案などについて、総務委員会（7月2日）、産業建設委員会（7月3日）教育厚生委員会（7月6日）、予算審査特別委員会（7月8日）を開き審査しましたので、概要をお知らせします。

総務委員会

付託された議案一件を審査しました。

○第三十六号議案 あらたに生じた土地の確認及び町の区域の変更について

長崎県施工の島原港海岸保全施設整備事業に伴う公有水面埋立てにより生じた土地について、議会の議決を経て確認し、町の区域を変更しようとするもの。

「質疑」公有水面埋立てにより生じた土地の所有者はどうなるのか。

「答弁」埋め立てた部分については、護岸部分と背後地の土地の部分が、護岸部分については国有地となり、背後地については県有地となる予定である。

このほか、背後地の土地の利用状況などについて質疑がなされ、採決の結果、原案のとおり可決することに決定しました。

